

平成29年度 協議会総会開催

2017.7.27



盛会だった会場風景



理化学研究所
大竹淑恵氏

断への適用が期待されています。また、小型中性子源を用いた金属材料の腐食状態の評価についても大変興味深い解説がなされ、活発な質疑が行われました。

最後に、夢沼副会長（株式会社代表取締役社長）より閉会の挨拶があり、本年度の協議会活動が正式

7月27日、62名(含事務局)の参加のもと、平成29年度県内中性子利用連絡協議会総会が開催されました。冒頭、須賀伸一会長（日本アドバンステクノロジー株式会社代表取締役社長）の主催者挨拶に続き、茨城県商工労働観光部次長兼観光局長 小泉元伸氏より 来賓挨拶をいただきました。

まず始めに、協議会事務局の石田正浩より昨年度の活動成果の説明と本年度の活動計画の説明を行いました。続く講演では、茨城県企画部技監 富田俊郎氏から「中性子産業利用の現状と茨城県の取り組みについて」との演題にて、中性子産業利用の現状と県ビームラインの次期運営方針の解説をいただきました。また、総合科学研究機構中性子科学センター 利用推進部次長 宮崎司氏より、「J-PARC MLF共用BLにおける産業利用の状況と利用の手引き」との演題で、会員企業の中性子利用拡大に向けた動機付けとなるご講演をいただきました。更に、会員企業の中性子利用事例として、エフシー開発株式会社技術開発部 幹淳氏より「中性子小角散乱法によるリチウムイオン電池充放電特性のその場観察に向けた取組」として、リチウムイオン電池構成部材の中性子小角散乱特性についての報告がなされ、ビームライン利用に向けた企業の関心を喚起しました。

今回の特別講演は、理化学研究所 光量子技術基盤研究グループ・中性子ビーム技術開発チームリーダー 大竹淑恵氏をお招きし、「使える！理研小型中性子源RANS、RANS2」と題し、実用域に到達した小型中性子源のご紹介をいただきました。特に、可搬式中性子源RANS2は、コンクリート橋梁等、社会インフラの非破壊劣化診

に始動しました。なお、本総会の最後には名刺交換の場を設けて研究者と企業及び企業間の情報交流が行われ、更なる相互理解を深めて戴き好評裡に終了しました。

那珂研で企業展示会

2017.5.24

5月24日、量子科学技術研究開発機構 那珂核融合研究所(那珂研)に於いて、「研究開発支援型企業技術展示会」が開催されました。本展示会は茨城県、那珂研、茨城研究開発型企業交流会(IRDA)、いばらき成長産業振興協議会及び本協議会の連携のもと開催されました。

冒頭、県産業政策課 産学連携推進室長 中村修氏及び那珂研 管理部総務課長 飯田達也氏から、研究者との交流を一層活性化するとともに企業間の連携形成の機会としてほしい旨の挨拶がありました。展示ブースでの得意技術や製品のPR、名刺交換に加え、会場に隣接したセミナー室での出展企業によるショートプレゼンテーションが行われる等、研究者との交流が図られました。



企業プレゼン会場

なお、本展示会には研究者等を中心に約200名が来場され盛会の中に閉幕しました。



多くの研究者で賑わった展示会場

会員(法人)異動のお知らせ

(H29年8月1日現在/敬称略)

◆ 新規入会

(合計会員企業数：226社)

・株式会社 菊和

菊池祐司 (代表取締役専務)

〒305-0875 つくば市花島新田3-34

電話：029-838-1311 FAX：029-838-0663

◆ 担当者変更

・株式会社 ティエス

柿崎 三千代 (総務経理課係長)

〒319-1725 北茨城市関本町富士ヶ丘1113-6

電話：0293-46-6221 FAX：0293-46-6226

◆平成29年度・事務局の体制について◆

本協議会事務局は、(株)ひたちなかテクノセンター企業支援部次長/平野聡、コーディネータ/石田正浩、満仲俊夫及び県商工労働観光部 産業政策課 産学連携推進室係長/小松崎和久が引続き従事します。尚、伊藤裕は3/31付で退任しました。